

## 船舶事故調査報告書

平成22年4月22日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲 也

委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年7月30日06時55分ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（鹿児島県南九州市枕崎港東方の海岸 前瀬鼻灯台から真方位271° 2.1海里付近（概位 北緯31° 15.0′ 東経130° 22.3′）で本船が発見された。）
事故調査の経過	平成21年8月3日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>しんせい</sup> 新生丸、0.3トン KG3-38984（漁船登録番号）、個人所有 4.43m(Lr)×1.50m×0.53m、FRP ガソリン機関（船外機）、漁船法馬力数30、不詳
乗組員等に関する情報	船長 男性 68歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成11年12月17日 免許証交付日 平成21年3月10日 (平成26年12月16日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	船底後部に擦過傷、推進器翼に折損及び曲損
事故の経過	本船は、平成21年7月30日02時00分ごろ、船長1人が乗り組み、いさき一本釣漁の目的で、枕崎港を出港し、同港東方約8海里（M）の漁場に向かった。 同日06時55分ごろ、枕崎港の東方約5Mを航行中の漁船が、岩場に乗り揚げている無人の本船を発見し、海上保安庁に通報した。 船長は、翌31日07時45分ごろ、本船発見場所の西方100m付近で、捜索中の僚船により発見された。 死因は外傷性頭蓋内出血疑と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 2、視界 良好 海象：平穏
その他の事項	本船は、発見時、機関操縦装置が全速力前進の状態になっていた。魚群探知機の電源は切られており操業の用意がされていなかった。また、船体に他船との衝突痕はなかった。 本船は、レーダー、GPSプロッターを装備していなかった。 船長は、長年出漁していて慣れた海域であるので、ふだんは陸の物標や

	<p>灯火を見て、船位の確認や針路の選定を行っていた。</p> <p>船長は救命胴衣を着用していなかった。</p> <p>本船が乗り揚げた場所は、洗濯板状の岩場が広がったところで、付近の海岸には陸上の灯火が点在していた。</p> <p>30日の日出時刻は05時34分ごろで、月齢は約7.7日だった。</p>	
分析	<p>乗組員の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>なし</p> <p>死因は外傷性頭蓋内出血疑であった。</p> <p>本船は、枕崎港東方沖を航行中、船長が、岩場に乗り揚げた衝撃で船外に転落した可能性があると考えられる。</p> <p>本船が乗り揚げた状況については、明らかにすることができなかった。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が枕崎港東方沖を航行中、岩場に乗り揚げたため、その衝撃で船長が船外に転落したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>	